

「がん検診のススメ」

検診は「命をおとさない特效薬」

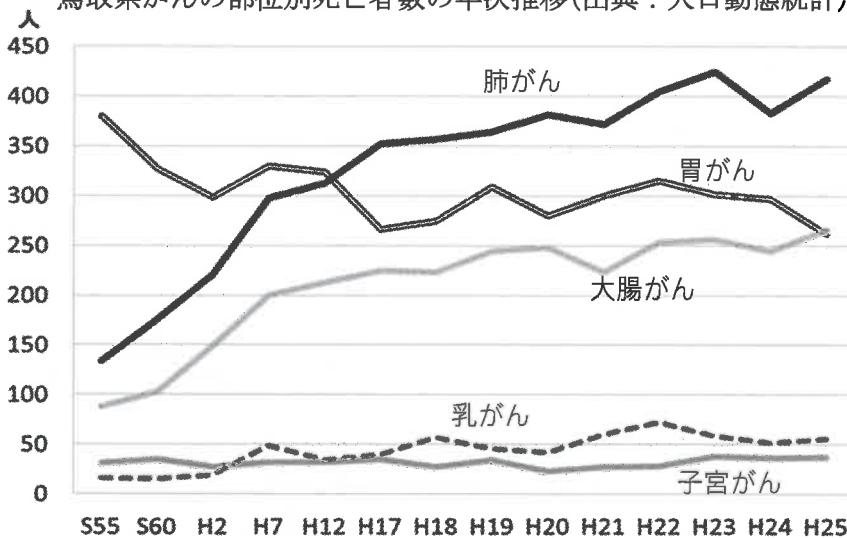
がんなんて、めったにかかる病気じゃないでしょ!?

全国及び鳥取県の死因の第1位は「がん」です。2人に1人が「がん」になり、3人に1人が「がん」で命をおとしています。誰もがかかる可能性のある身近な病気です。遺伝によるがんは5%程度で、喫煙、食生活や運動などの生活習慣が原因であることが多いといわれます。しかし、いくら生活習慣の改善を心がけても発がんリスクはゼロにできません。がんにならない生活習慣と、検診を受けて、がんを早期に発見し、早期治療することの両方が必要です。

ちょっと待った!



鳥取県がんの部位別死亡者数の年次推移(出典：人口動態統計)



鳥取県では、肺がん・大腸がんで亡くなる方が増えています。年々増加し30年間で約2倍になっています。

ちょっと待った!



検診を受けなくても、何かあったら医療機関に行くから大丈夫!?

早期のがんには自覚症状が全くないといっているでしょう。「いつでも行ける」は「いつまでも行かない」と同じです。「がん」は検診を受けることで、進行していない初期の段階で発見し、適切な治療を行うことで高い確率で治る病気です。

国はがん検診の受診率50%を目標にしています。大山町が実施している胃・肺・大腸・乳・子宮がん検診の平均受診率は平成25年度は14.8%で、県内で2番目に低い受診率(ワースト2位)でした。国の目標にはまだまだの受診状況です。がん検診の受診がまだの方は、ご自身や家族のためにもぜひ受診しましょう。

受診に必要な書類が見当たらない方は、遠慮なくお電話を!!

【問い合わせ先】健康対策課

☎0859-54-5206

